



国立療養所多磨全生園 附属看護学校

(全日制・二年課程)

入学のご案内

School of Nursing National Sanatorium Tama Zenshoen





教育理念

生命を尊重し、豊かな人間性と高い倫理観を持ち、人間に対する深い理解と共感を持つことのできる専門職業人を育てます。

科学的な知見による判断に基づき主体的に行動できる看護実践者を育てます。

社会情勢や医療の動向に対応できる生涯学習能力、研究的態度を育みます。

アドミッションポリシー（入学生に望むこと）

本校は、国立ハンセン病療養所および社会に貢献しうる看護実践者を育成する教育機関です。生命を尊重し、豊かな人間性と高い倫理観をもち、科学的な知識による判断に基づき主体的に行動できる看護実践者を育成します。さらには、医療の発展に対応できる生涯学習能力、研究的態度を育成します。

そのため、私たちは次のような素質を備えた人の入学を期待しています。

教育目的

看護師に必要な知識・技術・態度を教授し、国立ハンセン病療養所及び社会に貢献しうる有能な看護実践者を育成する。



- 1) 看護師を目指す意志がある人
- 2) 他者の話を丁寧に聴くことができ、自分の思いや考えを表現できる人
- 3) 自己の生活と健康に関心を持っている人
- 4) 人を思いやる気持ちを持ち、協働できる人
- 5) マナーやルールを守り、責任のある行動がとれる人
- 6) 看護を学ぶための基礎学力がある人



国立療養所多磨全生園附属看護学校は、准看護師から看護師にステップアップするための、2年課程の専修学校です。1968年に開設され、これまでに1,032名の卒業生を社会に送り出しています（令和5年3月時点）。前身である昭和28年開設の附属准看護学院を含めれば、実に70年もの長い歴史と伝統のある学校です。

母体となる多磨全生園は東京都東村山市にあり、東京ドーム8個分もの広大な敷地を有する緑あふれる閑静な医療機関です。その一画にある本校は、まさに「季節を感じられる静かな教育環境」です。

多磨全生園はハンセン病療養所で、皆さまの実習施設の一つとなります。入所者は、既にハンセン病は治癒していますが、これまでの隔離政策の影響などで療養所での生活は大変長くなり、高齢化の一途を辿っています。そのため、多くの入所者はハンセン病に伴う後遺症のみならず高齢化に伴う様々な心身の不調を抱えています。ここでの実習においては、様々な障害を抱える高齢者の看護や介護のみならず、今なお差別や偏見に苦しむ方々に直接接することによって、「守られるべき人権」や「生命の尊厳」についても学ぶことになるでしょう。そして、今ももっとも看護に求められている「高い倫理観」を養うことになるでしょう。もちろん実習施設には、国立精神・神経医療研究センターや、国立病院機構の幾つかの病院などもあり、「充実した実習環境」と自負しています。

皆さんは2年課程ですので、短い期間に多くのことを学ぶことになります。タイトなスケジュールにあっても看護師国家試験の合格率はこの数年間100%を維持していますが、それを可能にしているのが、「実践的な講義」と「少人数のクラス編成」です。学生と教師が密接にふれあうことにより、学生一人ひとりが持てる力を十分に発揮することができるからだと考えています。

「豊かな人間性」を持つ「看護実践者」の育成を目指し、私たち教職員一同は努力を惜しみません。ぜひ私たちと一緒に学び、成長してまいりましょう。

沿革

1953(昭和28)年 4月 1日	国立療養所多磨全生園附属准看護学院（准看護婦課程）開設
1968(昭和43)年 3月	国立療養所多磨全生園附属准看護学院 閉校 卒業生 212 名
1968(昭和43)年 4月 1日	国立療養所多磨全生園附属高等看護学院（看護婦 2 年課程・入学定員 20 名）開設
1975(昭和50)年 4月 2日	国立療養所多磨全生園附属看護学校に名称変更
1976(昭和51)年 4月 1日	学校教育法 82 条第 2 項に規定する専修学校（専門課程）となる。
1985(昭和60)年 4月 1日	校舎新築
1995(平成 7)年 1月23日	専門士の称号付与告知 文部省告知番号第 7 号
2010(平成22)年 3月31日	学生宿舎改修（シャワー室設置、洋式トイレへ改修）
2010(平成22)年 4月 1日	平成 22 年度入学生よりカリキュラム改正 男子学生の入寮を開始
2011(平成23)年 4月	校舎増改築整備（在学看護実習室、情報科学室、図書室、講師室・面談室、男子トイレ増改修）
2011(平成23)年 7月	増改築した校舎へ移動
2023(令和 5)年 3月31日	卒業生数 1,032 名 学生寄宿舎閉寮
2023(令和 5)年 4月 1日	令和 5 年度入学生よりカリキュラム改正
2024(令和 6)年 3月31日	卒業生数 1,046 名

カリキュラム

2年間の学習内容

	1 年 次	2 年 次
基礎分野	論理学 人間関係論Ⅰ・Ⅱ 情報科学 心理学 倫理学 	教育学 英語Ⅰ・Ⅱ 
専門基礎分野	解剖生理学 疾病と治療（総論） 疾病と治療Ⅰ～Ⅵ 栄養学 微生物学 薬理学 	保健医療論 公衆衛生 社会福祉 関係法規 
専門分野	看護学概論 共通基本技術 日常生活援助技術／日常生活援助技術演習 フィジカルアセスメント／フィジカルアセスメント演習 看護の展開方法 診療に伴う技術／診療に伴う技術演習 地域・在宅看護論Ⅰ 成人看護学概論 成人看護方法論 成人看護学演習 老年看護学概論 老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ 小児看護学概論 小児看護方法論 母性看護学概論 母性看護方法論 母性看護学演習 精神看護学概論 精神看護学方法論 精神看護学演習 	看護倫理 看護研究 地域・在宅看護論Ⅱ 地域・在宅看護援助技術 地域・在宅で療養する対象の看護 地域・在宅看護論演習 老年看護学演習 小児看護学演習 看護管理 医療安全 国際・災害看護 臨床看護技術演習 
臨地実習	基礎看護学実習 成人看護学実習 母性看護学実習 	小児看護学実習 精神看護学実習 老年看護学実習 地域・在宅看護論実習 統合実習 

主な実習先

- ・国立療養所多磨全生園
- ・国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院
- ・独立行政法人 国立病院機構東京病院
- ・独立行政法人 国立病院機構村山医療センター
- ・独立行政法人 国立病院機構西埼玉中央病院
- ・近隣 保育園／幼稚園



実習スケジュール



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生				夏休み			基礎看護学実習		冬休み	成人看護学実習 母性看護学実習	成人看護学実習 母性看護学実習	春休み
2年生	春休み	小児看護学実習 精神看護学実習	小児看護学実習 精神看護学実習		老年看護学実習	地域・在宅看護論実習		統合実習				

授業時間

1 限目
9:00～10:30

2 限目
10:40～12:10

3 限目
13:10～14:40

4 限目
14:50～16:20



✓ 国家試験対策

看護師国家試験に向けて、1年次から模擬試験と振り返り学習の実施。

学生一人ひとりへ、きめ細かい指導を実施し、毎年100%合格を維持しています。

✓ 就職支援

学生がどんなことを目指しているのか、やりたいことは何なのか、就職先である病院に求めることは何か、一人ひとりのニーズを引き出し、個別性に沿った就職支援を行っています。

主な就職先

- ・国立療養所多磨全生園
- ・独立行政法人 国立病院機構東京病院
- ・独立行政法人 国立病院機構災害医療センター
- ・独立行政法人 国立病院機構村山医療センター
- ・独立行政法人 国立病院機構西埼玉中央病院
- ・国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院
- ・国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院
- ・その他 一般病院／施設



■ 入学後の主な諸経費

入学後2年間で必要となるおおよその経費は以下のとおりです。目安として参照ください。

項 目	金 額（令和5年度実績）
入学金	172,000 円
授業料	600,000 円／2 年 (毎年 4月と10月 150,000 円／回)
教科書・白衣、傷害・損害保険代等 諸経費	約 300,000 円／2 年

※ 1年次健康診断の抗体価検査の結果、抗体価が基準値未満の方はワクチン接種が必要となり、その費用は自己負担となります。
 ※ その他、実習交通費などは実費が必要です。

学校の行事や係活動を通じて、仲間とチームワークを養い、一つの目標に向かって一致団結できる環境に魅力を感じています。

実習では座学で積み重ねてきた知識と技術をつなげ、実際に患者様へケアを提供することで改めて看護の魅力と喜びを感じることができています。患者様の言葉をたよりに、その方の生きてきた背景や、価値観など個性に合わせた看護を提供することの大切さを学んでいます。

全生園の自然が豊かな環境や少人数制で教育体制が整っているところに魅力を感じ入学しました。

演習の授業では、シミュレーターなどの教材が充実しており、実際に機材を用い実施します。文章や映像では気付かなかった患者さんへの配慮や、自分の作業域、根拠を学び、考えながら行うことができます。

少人数なので、みんなで協力するため協調性が身につきます。また、先生との距離が近いのですぐに相談することができます。

部活動を通じて全生園の自然や人との交流が深まり、人として成長できるきっかけも多くあります。

少人数クラスのため、先生・講師の方々は、私達の様子を見ながら授業を進めてくれるため、質問もしやすいです。大事な基礎知識から発展した知識まで細かく説明してくれること、現場での出来事などの話も取り入れながら話をしてくれるので、とても興味深く授業を受けられます。

技術演習では一つ一つ丁寧な指導があり、根拠をきちんと理解して学んでいけます。

授業時間以外の自己練習時にも指導をして頂けるので、技術を向上していくことができます。

年齢・男女・これまでの経験など関係なく、クラスみんなで楽しく、時に支え合い学校生活を送っています。



